

原田が悲願の優勝



レスリング・全日本学生選手権

4年目で手にした初タイトルはチームにも良い影響を与え、昨年度よりも多くの選手が表彰台に立った。主な入賞者は次のとおり。

- ▽グレコローマンスタイル59kg級・松井涼(商2・岐阜工高) 2位、北村侑磨(経済4・玉名工高) 3位▽同66kg級・魚住彰吾(経済4・育英高) 3位▽同71kg級・近藤雅貴(経営4・八幡浜工高) 2位▽同75kg級・武田光司(経営2・埼玉栄高) 3位▽同98kg級・谷藤広基(経済4・池田高) 3位▽フリースタイル65kg級・伊藤和真(経営3・網野高) 3位▽86kg級・武田 3位▽岡野希春・経済3 写真も)

フリー 65kg級

レスリングの全日本学生選手権(8月18〜21日、駒沢体育館)が行われ、原田駿(商4・島原高)がフリースタイル65kg級で優勝。悲願の学生チャンピオンとなった。

4回戦まではすべてテクニカルフォール勝ち。準決勝は両者ポイントを重ね6-6。ラストポイントを決められ、8-6。決勝にポイントを取った選手が勝利となるルールが適用されれば原田の負けとなる場面、残りわずか50秒。ここで勝負に出た原田がテクニカルポイントを決め、8-6。決勝へ駒を進めた。

決勝は「自分のペースで攻めていけ」とコーチ陣から声をかけられ挑んだ。先制点を許したが、すぐさま2点を奪い2-2で第2ピリオドへ。バックポイントを決められ

初の世界大会でメダル獲得。8月11〜16日、ブラジル・サルバドルで行われた世界ジュニア選手権のグレコローマンスタイル60kg級で河名真寿斗(文3・三次高)が銅メダルを獲得した。

4月のJOC杯ジュニアオリンピックカップで昨年3位、昨年は準優勝。着実に力をつけて挑んだ今年、念願の初タイトルを獲得し、世界ジュニアの出場権を得た。

準々決勝は0-5で折り返す。体力に自信がある河名は細かい動きで相手を動かして追いこみ、



▲ 表彰台に立った河名(右端)

逆転を果たした。準決勝はアゼルバイジャンの選手に敗れるも、3位決定戦はテクニカルフォールで勝負を決めた。

河名は「自分の持ち味を出せた。表彰台に立つ

野球・東都大学秋季リーグ戦 連覇目指し好発進

大学野球の季節が再び訪れた。

東都大学野球秋季リーグ戦が9月2日に神宮球場で開幕。春秋連覇を目指す専大は第一週で春季5位の重対戦。初戦は落としたものの、3戦を連勝し、貴重な勝ち点1を挙げた。

初戦(2日)は高橋礼(商2・専大松戸高)が昨秋以来の先発。七回まで毎回ランナーを背負う苦しい投球で4失点。打線は九回に意地を見せ2



負けられない3戦目(4日)は専大打線が目覚めた。

初回2死から3、4番が連打でチャンスを作り、今春のMVP・渡辺和哉(経営4・文芸芸大附属)へ。渡辺の当たった瞬間それと分かる左翼席への3ランで先制した。追いつかれた五回には森山恵佑(商3・星稜高)がリーグ戦初ホームランとなる2ランを放ち、勝ち越し。九回には初スタメンの和田裕生(経済2・福岡大大濠高)のリーグ戦初ヒットがホームランとなり7-3に。全打点をホームランで挙げ、重打を突き放した。

三回から先発の高橋をリリーフした大野は連投にもかかわらず、九回まで3安打無失点の力投を見せた。

大野が「挑戦者のつもりで戦いたい」と語るように、チームは秋季も「挑戦者」として立ち向かっていく。

(飯塚)

粘り強さを発揮した原田

「これまでは体力がなかったので前半勝負だったが、課題をカバーしながら、強い気持ちで臨んだ」と振り返った。佐藤満ヘッドコーチは「粘り強く、勝負どころで点を取れた結果」と原田を評価した。

3位入賞の福永主将、長野、桶田(左から)



東日本学生バドミントン選手権が8月29日から9月5日まで、山形県の山形市総合スポーツセンターで行われた。個人戦の女子シングルスで福永彩主将(文4・昭和学園高)が3位入賞。同ダブルスでも桶田彩乃(商1・西武台千葉高)・長野来夢(文1・鹿兒島女

女子単・複3位入賞 全日本学生出場権を獲得

バドミントン・東日本学生選手権

1回戦シードの専大は、初戦となった日女体大戦で圧勝し2回戦を突破。次戦の北翔大戦は、最終ゲームまでもつれる緊迫した戦いとなったが惜敗した。

部員たちの全日本学生でのさらなる活躍に期待しよう。

(飯塚恒成・文2)

専Sation 第14号発行 野球部7ページ特集

9月11日に「専Sation」第14号を発行しました。今号は26年ぶりに東都リーグを制覇した野球部を、今までの最大の7ページで特集。

5連覇を目指すサッカー部から秋間大樹主将に話を聞いた「あていしょなるこ〜」や、選手の動体視力を競う「俺の速さについてこれるかな?」など真面目な企画もあれば、ゆるい企画も織り交ぜ、バラエティーに富んだ内容です。

学内ラックで配布するほか、年間1000円で定期購読もできます。ご希望の方は、専大スポーツ編集部ホームページへお問い合わせください。

(新井健太郎・文3)

専大スポーツ No. 354

大会結果 予選は体育会ホームページ「専大ホーム」に掲載されています。大会結果を配信しています。

専大スポーツ編集部 web (http://sensuppo.web.fc2.com) facebook (http://www.facebook.com/sensuppo)